

今回提出いたしました議案のうち、農政部関係につきまして、その概要を御説明申し上げます。

まず、議案の説明に先立ちまして、最近の農業を巡る情勢について申し上げます。

【新型コロナウイルス感染症への対応】

農業分野では、本年度当初から新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントの中止、観光・外食の自粛などによる牛肉、花きなどの需要減少や、海外からの入国規制に伴う外国人技能実習生の減少などによる雇用人材の不足などの影響が生じました。

県では、県庁及び各地域振興局の農業農村支援センターに相談窓口を設置し、農業者からの相談に応じるほか、国の支援措置を最大限活用し、次期作や経営継続への支援を行うとともに、県産農産物のメディアを活用したPR、学校給食への信州プレミアム牛肉を始めとした、県オリジナル食材の提供などによる需要の喚起や、牛肉、花き等の企業等への斡旋を行ってまいりました。

また、春先のレタス等の収穫作業に間に合わせるため、ハローワーク等と連携し、人材を求める農家と県内の他産業従事者のマッチングを支援してきたところです。

5月下旬の緊急事態宣言解除後は、国の支援策などにより、需要が減少した品目も概ね前年並まで回復してきていたところですが、11月以降の感染の再拡大により再び影響が生じてきていることから、引き続き、農業分野への影響を注視しながら、農業者等への影響が最小限となるよう、必要な支援を行ってまいります。

【自然災害への対応】

本年度は、台風による果樹、野菜等への被害はなかったものの、春先の低温による果樹、野菜の凍霜害や、7月豪雨などによる農地・農業用施設と農作物への被害が発

生しました。

被害に遭われました皆様には、改めて心よりお見舞い申し上げます。

農政部では、事前の気象情報の提供や災害発生後の技術指導を行うとともに、被災した農地・農業用施設の早期復旧に取り組んでまいりました。

引き続き、市町村、JA、関係機関等と連携し、技術面・経営面の相談など、きめ細かな支援を行ってまいります。

また、令和元年東日本台風災害で甚大な被害を受けた頭首工や排水機場などの農業用施設については、令和3年度末までの復旧に向け、建設部等と連携しながら、一日も早く復旧工事が完了するよう事業主体である市町村を支援してまいります。

【家畜伝染病（豚熱及び高病原性鳥インフルエンザ）への対応について】

豚熱については、飼養豚では、令和元年9月以降県内での発生はありませんが、国内の広い範囲で野生いのししの感染が続いていること、また、ワクチン接種が可能となった令和元年10月以降も、他県ではワクチン接種済みの養豚農場で新たな発生がみられることなど、依然として、終息には至っておりません。

また、高病原性鳥インフルエンザについては、昨年11月に、国内で2年ぶりに香川県の養鶏農場で発生した後、2月10日現在で17県まで拡大しており、当初、西日本に集中していた発生事例が、関東地方にも広がるなど、県内での発生リスクが高まっている状況です。

このため、養豚及び養鶏農家へ正確かつ迅速な情報の提供を行うとともに、豚熱対策では、飼養豚等へのワクチン接種、野生いのししへの経口ワクチン散布や感染確認検査などを引き続き行ってまいります。また、高病原性鳥インフルエンザ対策では、養鶏農場に対する緊急消毒の実施や、野生動物の侵入防止のための網の整備や消石灰の散布など、各農場のバイオセキュリティレベルの向上の取組を支援し、市町村、農業団体と連携し、感染防止対策に全力で取り組んでまいります。

【国の令和3年度農林水産関係予算】

農林水産省においては、食料安全保障の確立、国土の保全など、各種対策を総合的に実施するための予算として、令和3年度当初予算案2兆3,050億円が確保されたところです。

特徴としましては、農林水産物・食品の2030年の輸出額を5兆円に引き上げる目標の実現に向けた輸出・生産体制の強化や、過去最大規模の水田の作付転換への対応、人口減少等中山間地域等の課題への対応、農業経営の生産性の向上のためのスマート農業の加速化への支援、農林水産行政のデジタル化の推進等があげられます。

また、防災重点農業用ため池の耐震化などの防災・減災対策や農業水利施設の老朽化対策、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている農林水産業者への支援、家畜伝染病の発生予防対策など危機管理事象の対応などについても重点的に措置されております。

県といたしましては、本県農業の推進に重要な施策も多く措置されていることから積極的に活用してまいります。

【令和3年度農政部関係予算案】

農政部関係の令和3年度当初予算案総額は、一般会計351億2,590万1千円、農業改良資金特別会計5,867万6千円、漁業改善資金特別会計412万2千円です。

今回提出いたしました令和3年度当初予算案は、「新型コロナウイルス感染症による影響への対応」、「災害からの復旧・復興、災害に強い県土づくり」に加え、「長野県DX戦略の具体化」、「2050ゼロカーボンの実現に向けた取組」などを重点的に進めるとともに、4年目を迎える「第3期長野県食と農業農村振興計画」の3本柱である「次代へつなぐ信州農業」、「消費者とつながる信州の食」、「人と人がつながる信州の農村」に沿った事業を着実に推進できるよう編成しました。

以下、令和3年度の主要な施策について、「第3期長野県食と農業農村振興計画」の施策体系に沿って、順次、御説明申し上げます。

まず、1つ目の柱である「次代へつなぐ信州農業」では、産業としての農業を振興するため、「次代を担う経営体の育成と人材の確保」、「消費者に愛され信頼される信州農畜産物の生産」、「需要を創出するマーケティング」の3つの体系により施策を展開してまいります。

「次代を担う経営体の育成と人材の確保」では、農業分野における新規就農者等、人材の確保を行うため、これまで対面で実施していた就農相談にオンライン方式を導入し、コロナ禍で増加することが予想される新規就農希望者のニーズに対応してまいります。

また、コロナ禍で失職、雇い止めとなった求職者を含め多くの皆様に、農業を就職先として選択いただけるよう、Webコンテンツ等を通じ、農業現場での働き甲斐などを分かりやすくPRするプロモーションを展開し、支援員による求人先とのマッチングを行うとともに、誰もが働きやすい職場づくりを進めるための研修会を開催し、農業の働き方改革を推進してまいります。

さらに、本年度、長崎県と実施した特定技能外国人のリレー雇用を他県にも拡大し、特定技能外国人の受け入れ推進を図ります。また、障がい者の農業分野での施設外就労を目指す福祉事業所の利用者が、農作業を体験する「お試しノウフク」などによる農福連携の取組の拡大を図るとともに、女性のための就農オンラインセミナー・相談会の開催など、多様な雇用人材の確保に向けた取組を進めてまいります。

これらに要する経費として、20億4,493万6千円を計上いたしました。

「消費者に愛され信頼される信州農畜産物の生産」では、スマート農業の導入を加速化するため、水田センサーや施設園芸モニタリングシステム、牛の分娩監視システムなどのスマート先端機器の「お試し導入」を継続・強化するとともに、県が開発を支援し、来年度市販予定のリモコン畦畔除草機の中山間地域での効果的な活用方法の検討を行ってまいります。

また、農業農村支援センターに「スマート農業相談窓口」を設置するとともに、「スマート農業推進担当」を配置し、地域の中核的な経営体への先端機器の導入をサポートするとともに、ミニ講習会を通じ多くの農業者に先端技術への理解を深めていただき、スマート農業の更なる導入加速化を図ります。

品目別の取組としては、水稻では、コロナ禍の影響により業務用需要が減少し、在庫が拡大したことに伴い、大規模な需給調整が必要となっていることから、主食用米を輸出用米や加工用米などに仕向ける取組や、野菜等の高収益作物の導入など経営の複合化に向けた支援を行うとともに、県オリジナル品種の「風さやか」など長野県産米の消費拡大に向けたPR活動を展開してまいります。

また、将来にわたり優良な主要農作物の種子を安定的に供給する体制を構築していくため、「種子場産地強化計画」の策定や種子生産に必要な施設・機械の整備への支援などを行ってまいります。

園芸作物では、ブランド力の強化による収益性の向上を図るため、実需者評価の高い“夏りんご”「シナノリップ」や海外からの引き合いが強い「もも」の生産拡大を引き続き進めます。ぶどうでは、平成29年度に県果樹試験場が開発した、種なしで皮ごと食べられる赤系ぶどうの「クイーンルージュ®」について、産地育成が順調に進んだことから、当初計画を1年前倒しして令和3年に本格的な市場デビューのイベントを行い、「シャインマスカット」、「ナガノパープル」との3色セットでの販売や生産拡大に取り組んでまいります。

畜産では、ゲノミック評価により遺伝的能力の高い母牛から生産された受精卵を令和3年度から県内各地に配布し、優良な子牛を持続的に生産できる体制を構築し、信州プレミアム牛肉の生産拡大を図ります。

また、県畜産試験場において、豚熱発生により休止していた養豚研究を再開し、肉質向上及び省力化技術の開発を行い、県産豚肉のブランド力向上を図ってまいります。

さらに、地球温暖化対策として、農業生産活動に由来する温室効果ガス排出量を削

減するため、農業関係試験場において、水田や牛からの温室効果ガス発生抑制に向けた技術開発に取り組むとともに、もみがらを活用した土壌への炭素貯留の実証を進めてまいります。

また、有機農業プラットフォームの取組を拡充し、会員が取り組む有機農業の技術習得や販路拡大等の活動支援などを行い、県内の有機農業の定着・拡大を図ってまいります。

農業を支える生産基盤の整備につきましては、収益性を高め、効率的な生産を支えるため、農業用水の安定供給を図る農業水利施設の長寿命化を行うとともに、畑地かんがい施設の更新や農地の区画拡大を進めてまいります。

これらに要する経費として、75億4,624万5千円を計上いたしました。

「需要を創出するマーケティング」では、県産農産物等の輸出を拡大するため、HACCP等の国際規格や輸出先国の規制に適合した商品の製造ラインの整備や、新型コロナウイルス感染症拡大で輸出先国に生じた需要の変化へ対応した家庭向け商品の製造設備の整備などを支援してまいります。

また、輸出向け農産物生産に取り組む産地が策定する輸出目標額などを定めた「輸出事業計画」の策定支援や、オンライン商談会に対応したデジタルリーフレットの作成などにより、輸出向け産地の育成を支援してまいります。

これらに要する経費として、2億2,571万1千円を計上いたしました。

2つ目の柱である「消費者とつながる信州の食」では、県産農畜産物や加工品の地域内消費を進めるため、農産物直売所を拠点に、2次、3次産業の事業者をつなげる「農産物直売所等活動ネットワーク（仮称）」の設立や、県オリジナル食材のメニュー開発、学校給食向けの県内農畜産物を使った一次加工品の利用促進への支援を行い、県内のホテル・飲食店、学校給食等における県産食材の活用拡大を図ってまいります。

さらに、消費者等に対しては、地域内消費をエシカル消費や2050ゼロカーボンへの貢献などの新たな視点でも捉えていただけるよう、身近で生産、販売されている農産物を購入・消費することの意味や大切さを関係部局と連携して、発信してまいります。

これらに要する経費として、907万円を計上いたしました。

3つ目の柱である「人と人がつながる信州の農村」では、激甚化・頻発化する気象災害や大規模地震による災害リスクに対応するため、新たに措置された国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の予算を積極的に活用し、防災重点農業用ため池の耐震化や排水機場の更新、農業水利施設等の老朽化対策を現在の計画より前倒しし、県土強靱化対策を加速してまいります。

また、持続可能な営農を支えるための農道整備や、中山間地域における農業生産基盤と生活環境の総合的な整備、農業用水を活用した小水力発電施設の建設を進めてまいります。

さらに、暮らしの場としての農村を、農業の持続的な発展の基盤として次代に引き継いでいくため、「多面的機能支払事業」や「中山間地域農業直接支払事業」などを活用し、地域住民や都市住民も含めた地域の共同活動、野生鳥獣による農作物被害を防止するための地域ぐるみの共同活動等の取組を引き続き支援してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で増加する地方回帰のニーズを取り込み、定年帰農や半農半Xなど、農ある暮らしを志向する多様な人材を農業・農村へ呼び込むため、引き続き、農ある暮らし相談センターに農業アドバイザーを配置するとともに、農ある暮らしを紹介するガイドブックの発刊やオンラインセミナーの開催などにより、情報発信を強化してまいります。

これらに要する経費として181億9,791万3千円を計上いたしました。

【債務負担行為の設定等】

令和3年度当初予算案における債務負担行為の設定は、「指定野菜価格安定資金造成円滑化事業」以下、14事項です。

事件案につきましては、「県営土地改良事業施行に伴う市町村の負担について」以下2件です。

専決処分報告は、「交通事故に係る損害賠償の専決処分報告」以下2件です。

【令和2年度農政部関係補正予算案】

令和2年度一般会計予算案について申し上げます。

今定例会に提出した補正予算案は、国の補正予算を活用し、激甚化・頻発化する災害に備えた防災減災対策や、TPP等国際的な経済連携協定に対応するための農業の生産力・競争力強化に向けた取組を実施する経費として、33億7,594万2千円を計上いたしました。

このうち、防災減災対策では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算を活用し、千曲川沿いの排水機場の更新や防災重点農業用ため池の耐震化などを進めてまいります。

また、国際的な経済連携への対応では、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づき、担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換を促進するための農地の区画拡大、農地中間管理機構を活用し農地の集積・集約化を進めている地区において担い手が行う、融資を活用した農業機械・施設整備の導入を支援してまいります。

以上、農政部関係の議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

何とぞよろしく御審議の程、お願い申し上げます。